

藤井青銅「作家的発想法～自分の頭を柔らかくする」

3 今回のテーマ「切り口2 辞書・辞典」

人と同じものを見ている、それをどう切り取るかという「切り口」の違いで、個性的な文章になる。他の人と違う作品になる。その第二弾。

※参考本「TV・マスコミ 言葉の真相」
～その実例から、切り口の作り方を学ぶ

「辞書・辞典」記述の特徴とは何か？
公平・中立・無個性。偏らず、万人向けであること。
～だから逆に、そこに個性を出す余地がある。

アンブローズ・ビアス「悪魔の辞典」が、その一番有名なもの。
ゆえにその後、多くのフォロワーが生まれる。

これは辞書・辞典だけではない。他にも、ニュース、新聞、教科書…など。
オフィシャルなものほど、そこに別の側面を見つける余地が残されている。
それが柔軟な発想の練習になる。

【課題】

「衣食住」の中から一つのジャンルを決め、五つの言葉の定義を提出する。

ポイント

～なぜ「衣食住」か？（万人に共通するテーマで、しかもバリエーションが多い）
～その中から、どういう基準で五つを並べるか？
～辞書的な記述と、自分の個性による記述との距離感をどの程度とるか？